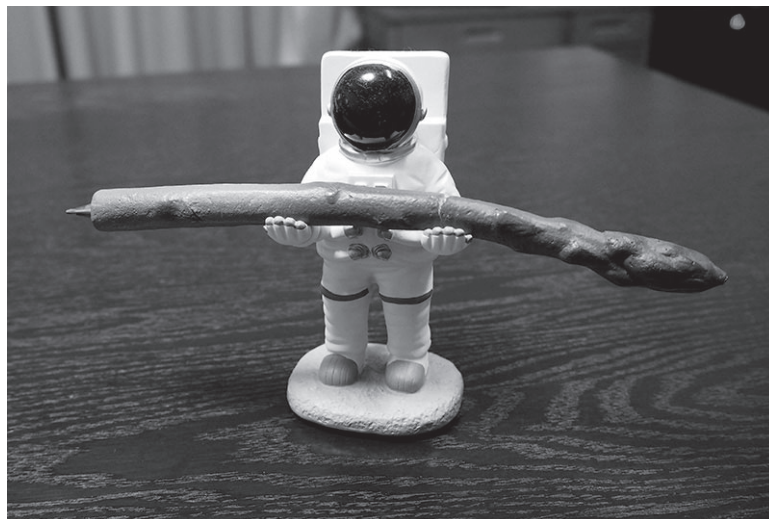


NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEP 子供パラダイス all for ワ ダフォー!!

えぬピーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこぱらだいす
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう
2015 年 4 月号



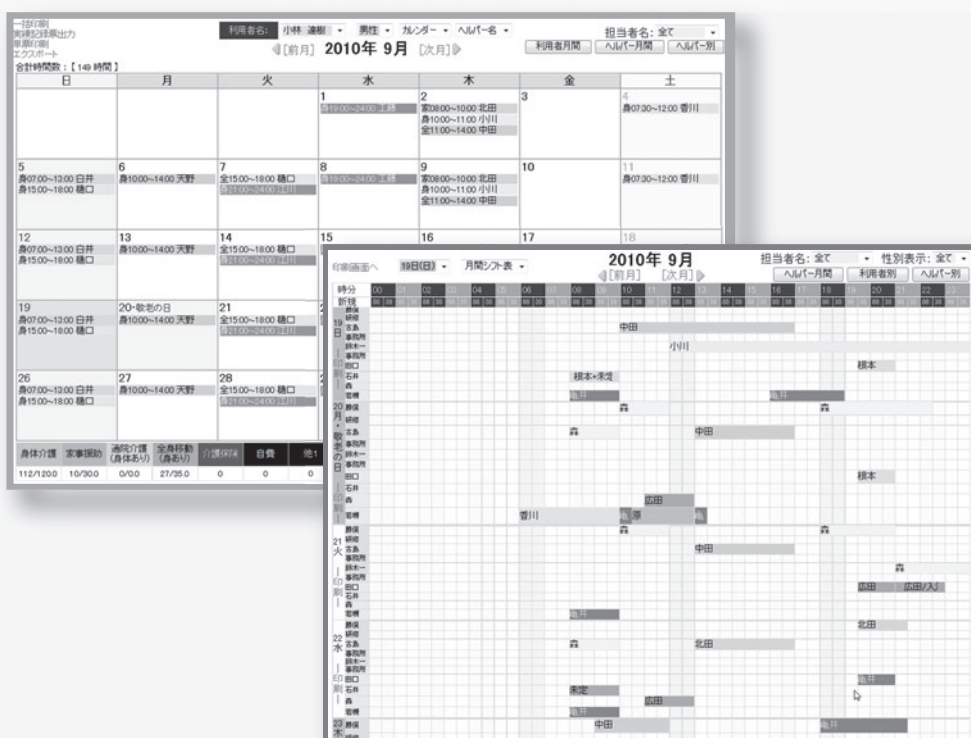
わたし こうさく す
私は工作が好きでいろいろなモノを作っています。自分で使う
そうぐ 装具やちょっとした物、パソコンも自作しています。自分の
ようと あ りゆうよう
用途に合わせ、流用できるものはないか、または組合わせられ
ないかをかんが かんが 考えることが好きです。
そんななか、たまたまあったものなか、ふとおもしろく あ
組み合わせがひらめきました。うちゅうふく 宇宙服はメガネスタンドです。そこにアス
パラのボールペンを持たせてみました。ほんらい 本来ではないこんな組
あ み合わせも おもしろ
み合わせも面白い。

シフト表の
作成って
もうイヤ!

月額
800円
から



ヘルパーアシスト ならできる。



<http://www.helper-soft.net>

開発・販売元
mit's
COMMUNICATIONS

有限会社ミツコミュニケーションズ
〒133-0065
東京都江戸川区瑞江2-6-11 プレステージ瑞江303
電話 03-5636-6027 FAX 03-5636-6024



目次

も く じ



しんねんど あいさつ 新年度の挨拶	2
す て っ ぶ こうれい STEP恒例イベントいろいろ	3
ねこ い 猫カフェに行ってきた	6
じ る そうかい おおさか あんど じゅってん さん ぜろ JIL総会大阪 & 10.30	7
さん か いろいろ参加しました	10
じ る あいる JILタイ・Lツアー	11
しゅっせい まえ しん だん 出生前診断ワークショップ	17
しゅうちゅう こうざ ピアカン集中講座	18
そうぞう じぶん 想像できた自分	20
がいこく けんしゅうせい らいにち 外国の研修生、来日	21
かつどう こんな活動もしています	23
チャレンジ・ザ・ドリーム	27
かいじょしゃ りようしゃ せんりゅう あんど ぼきん かつどう 介助者・利用者川柳 & 募金活動	30
かつや みつ の ぶ じょうほう はっしん 勝矢光信の情報発信コーナー	31
しん しょうかい 新スタッフ紹介	33
かつどう ほうこく 活動報告	35
かい いん ぼ しゅう 会員募集	37

しんねんどあいさつ
新年度挨拶

さくねんど さまざま かた しえん きょうりょくごころ かんしゃもう あ
昨年度も様々な方によるご支援、ご協力心より感謝申し上げます。

こんねんど わたし じりつせいかつ すてっぷ せつりつ ねんめ むか
今年度、私たち自立生活センターSTEPえどがわは、設立14年目を迎えます。

えどがわく なか わたし しょうがいしゃ そんざい かつどう いみ さら ついきゅう
江戸川区の中で、私たち障害者が存在し活動する意味を更に追求し、
しゃかい む つづ おも
社会へ向けてアピールし続けたいと思っています。

こんねんど みなさま とも じゅうど しょうがい く しゃかい もと かつどう
今年度も皆様と共に重度な障害があっても暮らしやすい社会を求めて活動
していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

えぬぴーおーほうじん じりつせいかつ すてっぷ
NPO法人 自立生活センターSTEPえどがわ
だいひょう よしもと りゅうじ いちどう
代表 良元 竜次 スタッフ一同



STEP イベント

すてつぷこうれい 恒例

なつまつ 夏祭り 2014/8/9

ばーべきゅー BBQ 2014/10/18

クリスマス 2014/12/19

おおたき 涼子

なつまつ
夏祭り
2014年8月9日
STEP事務所

あめ ふ 雨が降ったりやんだりと不安定な
てんこう 天候でしたが、今年もたくさんの方が
あつ 集まりました。

じむしょ 事務所のレイアウトを変えたためか
ひろ 広くなり、去年と変わらない人数で
したが過ぎてしやすくなりました。

はつ 初メニューに小椋さん特製「シロコロホル
モン」具はもちろん、スープのあまりのおい
しさに、うどんいれて食べたーい！なんて声
も。さらに初企画！「KAG総選挙」みなさん
だいすき「からあげ」の総選挙を行いました。
けつ 結果は？事務所に貼ってありますのでぜひ、
かくにん 確認しに来てくだ



さいね。おいしい、楽しいSTEP
の夏祭り！来年はどんなメニュー、
企画、ゲームがあるのか？！皆さんこ
うご期待！

ついしん もとむ しんきかく しん
追伸：求！新企画、新メニュー！



ば ー べ き ゆ ー
B B Q

秋晴れの中、例年通り篠崎公園で行われ
ました。晴れ渡る青空のもとで焼くお肉

ねん がつ にち
2014 年 10 月 18 日
しのぎきこうえん ばーべきゆー ひろ ば
篠崎公園 BBQ 広場

あじ かくべつ すす すす
の味は格別ですね。ビールが進む進む
ごうかけいひん わ はこ
♪豪華景品をかけたゲームは輪ゴム運びゲー

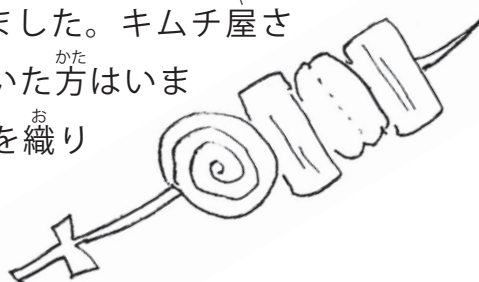
ム。ほぼ全員参加することができ、大盛り上がりでした。

お お かた はな たの すてき
多くの方とゆっくり話せるイベントは楽しいですね。素敵なひと
とき す さんか みなさま
時が過ぎました。参加いただいた皆様ありがとうございました。

じゅんぴ かたづ てつだ ま お
準備、片付けもお手伝いしていただけたおかげで、あっという間に終
わりました。次回もぜひよろしくお願いします。

ちなみに今回、キムチにこだわりました。キムチ屋さ

さんしゅるい えら なら き つ かた
んから三種類を選びテーブルに並べました。気が付いた方はいま
したでしょうか！？今後もちよいちよい新しいことを織り
こ こんご あたら お
込んでいけたらいいな—と思っています。



X'mas とうぶくみんかん 東部区民館にてクリスマスパーティが開催されました！

2014年12月19日 今年^{ことし}は平日^{へいじつ}の夕方^{ゆうがた}からの開催^{かいさい}でした
とうぶくみんかん 東部区民館ホール^{そうぜい}が、総勢^{めいほど}100名程^{うち}（その内^こお子さん^{たち}が約30名！）の方^{かた}に参加^{さんか}をしていただき、わいわい楽しく賑やかなパーティになりました。

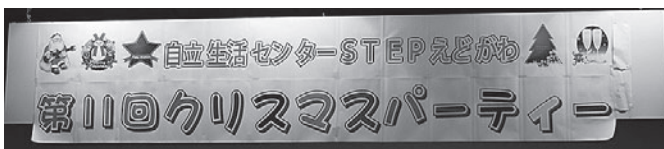
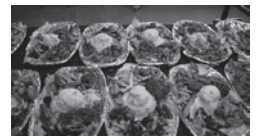
今年^{ことし}のオードブルは外部^{がいぶ}で発注^{はつちゆう}するのではなく、STEPのシェフ達^{たち}が朝^{あさ}から仕込み^{しこ}をして料理^{りようり}からケーキ^{さくせい}まで作成^{さくせい}しました。

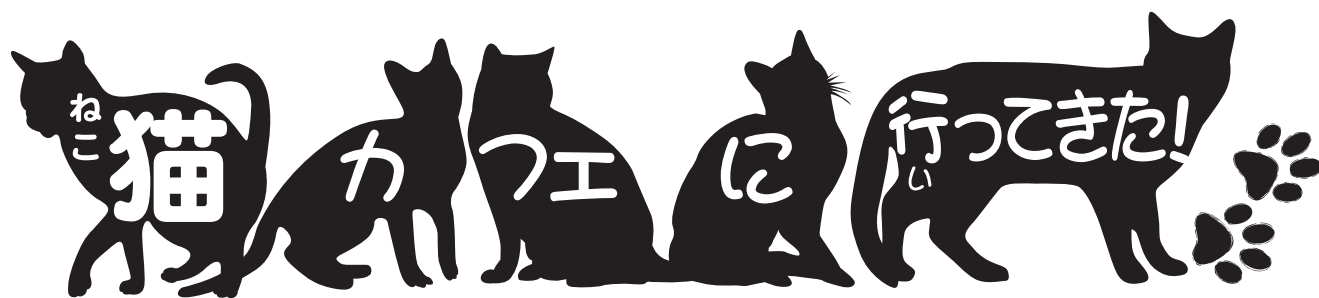
また、ハヤシライス^{ていきよう}を提供^{すてっぶ}したのですが、STEPで今年購入^{ことしこうにゆう}した寸胴^{ずんどう}をどうしても使用^{しよう}したく、寸胴^{ずんどう}で朝^{あさ}から煮込み^{にこ}作り^{つく}ました。約80食分のハヤシ・・・さすがにかき混ぜ^まるだけで腕^{うで}がパンパン！給食^{きゆうしよく}のおばさん、さすがです！ポテトサラダ^{こぶん}はじゃがいも50個分！もうパーティではなく炊き出し状態^{わらい}ですね（笑）

舞台^{ぶたい}では今年も色々^{ことし}な出し物^{いろいろ}が催^だしされ^{もの}ました。それぞれに、毎年バージョンアップ^{まいとし}されており、楽しませて頂^{いた}きました！ダンスナクセイバーも子どもたち^こに大人気^{だいにんき}で、騒ぎ走り回^{さわ}っていた子どもたちも、ナクセイバーのショーが始^{はじ}まると、みんな舞台^{ぶたい}の隅^{すみ}に座り込み、釘付け^{くぎづけ}になって見ていました（笑）

ここでひとつ裏話^{うらばなし}をすると、クリスマスパーティ当日^{とうじつ}の朝^{あさ}、ナクセイバーのムジから連絡^{れんらく}があり体調不良^{たいちようふりよう}で子どもたちにクリスマスプレゼント^{くば}が配れない！！とのことで、急遽^{きゅうきょ}ナクセイバームジの双子^{ふたご}の相方^{あいかた}に出演^{しゅつえん}してもらいました。連携プレーすばらしかったです。

そんなこんなで、3時間半^{じかんはん}のクリスマスパーティ無事^{ぶじ}に終了^{しゅうりよう}しました。たくさんの方々^{かたがた}のご参加^{さんか}、ご協力^{きょうりよく}ありがとうございました！！





わたなべ じゅんこ
渡邊 順子

7月の話になるのですが、秋葉原の猫カフェに行ってきました。秋葉原には10年振りくらいに行ったのですが、メイドカフェや執事カフェがあり、とても変わっていたのでびっくりしました。

以前から猫が好きで猫カフェに行ってみたくて思い行ってきました。猫がたくさんいてすごくかわいかったです。行ってみて思ったのですが、秋葉原の道路は道が悪く、ボコボコしているところがあって、車椅子では移動が難しいと思いました。



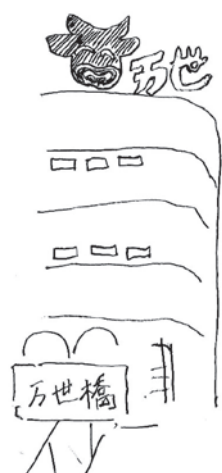
みやのし



こうしゅう ゆうりよう かい えん
公衆トイレが有料で1回100円

でした。すごくきれいで車椅子用のトイレは広くて使いやすかったです。有料トイレは初めてでしたが、1度経験でき良かったです。

つぎ とうきょう い
次は、東京ソラマチに行きたいです。



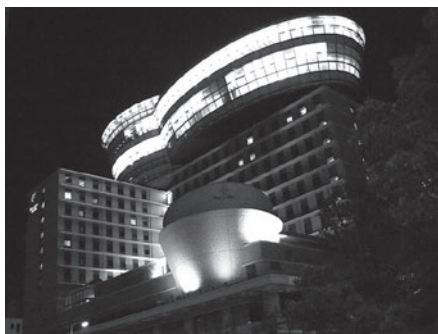
じ る そ う か い
川 総 会
in 大 阪
いんおおさか



じ ゅ っ て ん さ ん ぜ ろ
10.30
大 フォーラム
だい

せきぐち さとし
関口 悟

ねん ぜんこく じりつせいかつ きょうぎかい じ る そうかい
・ 2014 年全国自立生活センター協議会 (JIL) 総会 :



2014 年 5 月 27 日から 29 日まで、大阪市のマイドームおおさかで行われました。半年以上前のことなので、
実のところ細かいことはかなり忘れてしまっています。
内容としては、障害者権利条約の批准や差別解消法、障がい者の尊厳死の是非といった昨今問題になっていることを除けばCILで仕事をする基本といえることです。

三日目である5月29日に受けた「新人研修」と「サービス等利用計画」といった選択式カリキュラムは特にそうでした。

印象に残っていることをあげると、町田ヒューマンネットワークの堤愛子氏といった、日本で自立生活運動の初期から関わっておられる方々から直接話を聞くことができたことでしょうか。あと、開催地にあるCIL「夢宙センター」のスタッフを中心にした交流会でのおもてなしが印象的でした。スタッフの方が書いてくださった似顔絵は今も私の部屋に飾ってあります。

大したことは書けませんが、先輩たちが時に命をかけて獲得したものを、次の若い世代にどうつないでいくか。生まれたときからそこにあると先輩たちの苦労になかなか思いが至らないものです。その橋渡しが自分の役目だと思うのです。



じゅってんさんぜろ だい
・10.30 大フォーラム:

2014 年 10 月 30 日に日比谷野音にて行われました。問題山積の自立支援法が成立した翌年に行われた 2006 年大フォーラムのあの熱意をもう一度取り戻したかったのです。

しかし開催までには紆余曲折がありました。それでも組織の枠を超えた関係者の熱意で実現にこぎつけました。主な内容は肢体・知的・精神・聴覚・視覚・内部等各障がい及び難病患者団体によるリレートーク。そして終了後、参加者有志が厚生労働省前でデモを行いました。

これからは障がい者のみならず難病患者との共闘になる。障がい者と難病患者、そして難病患者・障がい者同士の間には制度の谷間を作ってはいけない。そのために組織の枠を超えた共闘関係を作り直していくことが今後の課題だと感じました。



あいぱっど かつようほう
iPad 活用法

まるた きみえ
丸田 君枝

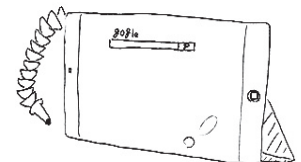
今まで iPad 操作は、介助者によるもののみでしたが、iPad 機能のアクセシビリティを使い、周辺機器として、「なんでもワイヤレス」と少しの指の動きで反応するスイッチを活用し、自分でも色々出来るようになりました。

長文のメールはさすがに疲れも出ますが、短文であれば自分でもメールをしたりつぶやいたり出来ます。ネット検索やショッピングも気楽に出来ます。

何よりハマってしまったのは、ゲームです。「ファームヒーロー」にハマっています。

まさか、ゲームにハマるとは…！！と自分で驚いています。

新たなストレス解消法を見つけられました。もっと色々な使い方を見つけていきたいです。

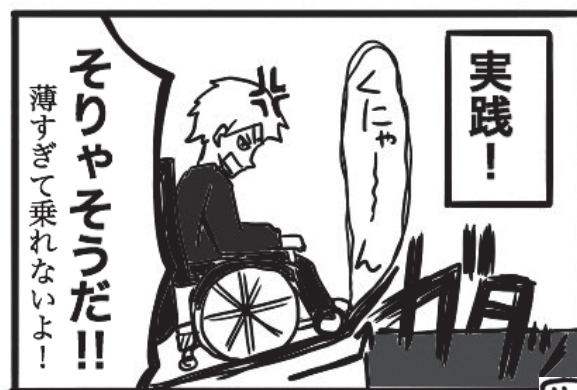


ありえな〜い1



※あまりにも考えない店長

ありえな〜い2



※使い物にならないスロープでした

やーまん

色々参加しました

いけがみ ゆたか
井家上 裕

「ボランティアフェスティバル」

2014年^{ねん}えどがわボランティアフェスティバルが7月13日^{がつ にち にち}（日）に開催^{かいさい}されました。



STEP^{すてっぶ}えどがわはフリーマーケットに
出店^{しゅつてん}しました。品揃え^{しなぞろ}豊富^{ほうふ}に揃えたところ
と飛ぶように売^うれました。売れた商品^{しょうひん}と共に
ヘルパー募集^{ぼしゅう}などのチラシ^{わたくし}を渡したり活動^{かつどう}
の紹介^{しょうかい}もしっかりして来^きました！

「東部区民館バザー」

2014年^{ねん}9月14日^{がつ にち にち}（日）東部区民館^{とうぶくみんかん}のバ
ザー^{さんか}に参加^{すてっぶ}しました。STEP^{すてっぶ}えどがわで
は「灼熱バザー」^{しゃくねつ}の異名^{いみょう}があるこのバザー。
今回は暑^{あつ}さ対策^{たいさく}を万全^{ばんぜん}に！・・・して臨^{のぞ}み
ましたが意外^{いがい}と過^すごしやすい陽気^{ようき}でした。



「淑徳大学学園祭」

2014年^{ねん}11月2日^{がつ ふつか にち}（日）淑徳大学学園祭^{しゅくとくだいがくがくえんさい}に参加^{さんか}しました。STEP^{すてっぶ}えどがわは
毎年恒例^{まいとしこうれい}「関西風具沢山うどん」^{かんさいふうぐだくさん}で出店^{しゅつてん}。うどんを販売^{はんばい}しつつ、学生さん達^{がくせい たち}
に「STEP^{すてっぶ}えどがわ重度訪問介護従事者養成講座」^{じゅうどほうもんかいごじしやようせいこうざ}のチラシ^{くば}を配^{くば}ったところ
反応^{はんのうりようこう}良好^き！これを機^きにSTEP^{すてっぶ}えどがわに関わ^{かか}ってくれる学生さん^{がくせい}が増えてくれ^ふれ
ば嬉しい^{うれ}ですね！





つちや みねかず
土屋 峰和

タイってどんなところだろう!? タイの自立生活はどんな
だろう? 今の日本の自立生活と比べ、どんな違いがあるのだ
ろうか? また、移動についてはどうだろうか?

このツアーはJILが企画したもので2014年9月1日
から7日までの日程で、日本からだけではなく韓国から
も十数名が参加しました。日本からは、当事者、介助者、
事務局スタッフ・通訳など、総勢31名で、各地からの参加
もあり、空港も成田、関空、福岡とそれぞれの最寄り空港か
ら現地タイへ向かうというなかなかの人数での参加となりました。



三カ国の障害当事者が集まり意見交換をし、交流を深めネットワークを築くことが
できたのではないかと思います。タイ、韓国そして日本の制度的な現状をはじめ実際の
自立生活について、そして自立生活センターの重要性や役割など、かなり活発に
意見交換が交わされました。タイの現状を聞くと、やはりまだまだこれからかなあ
というのが私の印象です。

タイは東南アジアに位置し、成田からタイの首都であるバンコクの空港、スワン
ナプーム国際空港までは直行便で6時間くらい。時差は2時間。日本が昼の12時
だとすると、タイは朝の10時。通貨はバーツ。1バーツは当時3円ちょいくらい。
500mlの水で高くても60円くらいかな。物価は安いなという感じです。



かいぎふうけい こんかいざんねん こ なかにし
会議風景。今回残念ながら来られなかった中西
さんのメッセージも動画で伝えられた。

今回は行く事は出来なかったけど、市場へ行っ
て飲んで食べてみたかったなというのがちょっと
心残り。市場に限らず、その辺の歩道には出店が
ビッシリと並んでいる所が多々あり(車椅子で通
るには厳しいところも多く、しかもけっこうボ
コボコ。実質歩道はほぼ使えない)、衛生的にみ
ると、コレ食っちゃって大丈夫かあ? と思うも

のもたくさん見た。でも、たいてい！？は火を通してあれば大丈夫という事だったので、思い切ってチャレンジしてみようとは思ったのですが、想いは叶わず…。自由時間があまりなく、私の好きなブラブラ散歩があまりできなかったのが少し残念（当然と言えば当然なのですが（^_^））。

でも、振り返ってみると、個人の旅行では観るこのできないことが多く、貴重な体験だったかなと思う。

そんな貴重な体験の一つ、自立生活を始めたという二人のお宅を見せて頂いた。

バンコクから車で2時間ほどのパタヤという町でその方々は暮らしていた。タイではまだまだ病院や施設のようなところで過ごしている人が大多数な中、先駆的な存在だという。一人暮らしではなく家族とではあるが、介助サービスを利用しながら暮らしていた。いくつか話を聞いたが、やはり多くの部分は以前の暮らしとは違い、とても良いというようなことを嬉しそうに話していたのが印象に残っている。

こちらからの質問で、何が一番良かったか？と聞いたところ「外出できるようになったことが一番うれしい」との答えだった。私は出かけることが好きなので、それは良かった！と思っていたのだけど、その回数を聞いてビックリした。なんとその回数は、



お宅訪問は、日本班、韓国班に分かれて行った。最前列の左から二番目の白シャツの方がご本人。その右側が祖母。敷地内に離れのように何棟かがあるお家だった。これだけの人数だったので、庭でお話をした。



韓国班の代表のファンさんと。日本から韓国へのお土産の手渡し役を頼まれた。ファンさんとすうかいめさいかいけいそんどうしことは数回目の再会。頸損同士という事で、頑張ってお土産を手渡ししてみた。



食事会。タイ人の店員に、なぜか私だけタイ班のテーブルに案内された。ふと周りを見ると国ごとにテーブルを囲んでいる。なんで！？と思いながらも聞いてみた。そしたら、たぶんタイ人と間違われたんだらうと言われた。ちょっとショック（*_*）でも、お陰で楽しかった。

“年”に3～4回！？。私は一瞬固まった。とても嬉しそうに話していた本人の、その表情から私が連想した回数と、あまりにも違っていたから。

このツアーで一番考えさせられた瞬間かもしれない。CILなどが主催するイベントへの参加がほとんどだという。近所への買い物や散歩へもほとんど行かないらしい。道路には歩道もなく舗装も

されていないからとのこと。挙句の果てには道路を車椅子で通ると警察からも危ないから止めろと言うような注意もされる（…とっていたようなかすかな記憶があるけど…）らしい。

外出しないのか。それともできないのか。そこには理由があるのかも知れない。でも、あの表情から見て取れる本人の気持ち。その中でも大きなウエイトを占めるであろう部分、それは年数回の外出だった。それを考えると、それまでの生活に、または人生に“外出”はどのくらいあったのだろうか。近所にも出かけず年数回の外出を心待ちにしている生活はどんなだろう。また、以前の生活はどんなだったんだろうか。

私は、病院・施設と親元での生活のトータルが16年ほどある。けっこう長いんだよね。しかし、私の場合はそこまで外出できなかったわけでもなかった。とは言え、今に比べると、圧倒的に少ない外出の機会。でもそれはとても楽しい時間だった。この時間を増やしたいと思うことはあったけれど、そうできない環境（もしくは自分？）なのもまた現実。そんな限られた空間で時間を過ごしていると、だんだんと麻痺するんだと思う。少なくとも私はそんな感じだったような気がする。その頃の自分はそれが普通だと思い込んでいた。今思うと、なぜあの時もっと…と後悔してしまう。も



お宅訪問2軒目。家は交通量の多い道路沿いにあり、商店を営んでいた。暑くてばて気味の私たちに、お母さんが氷嚢を作ってくれた。私はとてもありがたかった。



パタヤでの講演・セレモニー・食事会。公民館のような所で行った。室内ではなくオープン。セレモニーでは子供たちがダンスを披露してくれ、風景なども相まって南国ムード満点な感じだった。食事もおいしかった。でも…メツチャ暑かったあ。私は「スプレー」を使いまくりだった。講演の後半はほとんど頭に入らず…^_^;

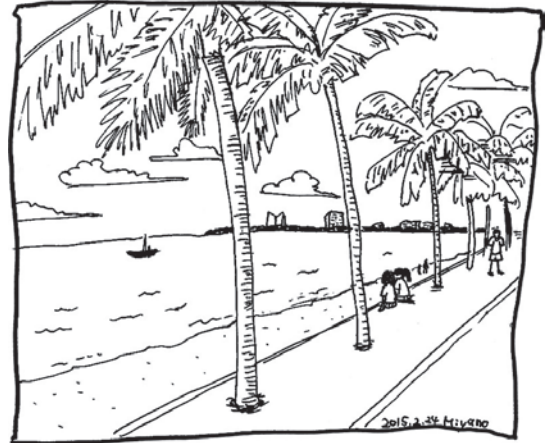


ちろん外出がすべてではない。しかし、日常生活の中で外出の占める割合や意味は、意外と大きいんじゃないかと私は感じてる。

彼女が私達と出会い話を聞き、何を思ったのだろうか。もちろん彼女と私では多くの事が違う。でも、そんな生活の中を感じるもののいくつかは、共通するんじゃないかと感じた。この出会い

が、1年、3年、5年先の人生の、何かが変わったと思える一つのきっかけになっていたなら嬉しい。またその頃、彼女がどんな生活をしているのかがとても気になる。

あの頃の私は外国なんて考えもしなかった。でも今はタイへ行き、幸いな事にこんな経験を積むことができている。もしかしたら何年後かに彼女が日本へ…そんな妄想をしてしまった。



このパタヤという町。タイの中でも有数のリゾート地。海岸線を走る道路からは、



券売機。液晶に路線図が出て、行きたい駅を押す。日本のように金額が出るよりもわかりやすいかも？駅数が少ないからかな。出てきたのは切符ではなく、プラスチック製のコインだった。何も書かれてない。

ト風景…だったと思う。と言うのも、それらしき風景は真っ暗でほとんど見えなかった。パタヤでの予定は、歓迎セレモニー、ILセンター交流、お宅訪問の後に夕日の見えるフードコートで食事だった。が、セレモニーでのお偉いさんのお話が相当長引いてしまったため、夕食は夕日どころか日没後しばらく

時間も経ってしまい、辺りは真っ暗。

ヒルトンホテルも入っているショッピングモールの一角だったので、ロケーション的にも良かったんじゃないかと思う。だけど、時間がないため本当に食事のみでモール内も見ることとはできず、外にも出られなかった。道を挟んですぐ目の前には、ヤシの木、砂浜、海が広がっていたのに…。砂浜沿いのヤシ並木には、歩道も整備されているような感じだったので、アクセスチェックしたかったなあ。

アクセスチェックとえば、バンコク中心部を走る、地下鉄（MRT）と、高架橋を走る鉄道（BTS）を視察させてもらった。

バンコクにはMRTが1路線、BTSが2路線、そして空港を結ぶエアポートレイルリンク（ARL）が2路線ある。これらを使うと観光などかなり動けるかなという感じだった。

この路線のある区間を、MRTからBTSへ乗り換えも含め見せて頂いたのですが、行ってビックリ！ガッツリの取材付だったのだ！！



地下鉄での取材。ホームは広くホームドアもある（奥に見える）。ただ、スロープの用意はない…。



ビーティーエス じょうげ りょう と
BTS。上下に2両が止まっている。ビックリしたのが車両の窓も含め全面広告だったこと。でも、ホームからはホームドアが設置されていてあまりよく見えなかった。ちなみに中からはスモークが貼ってある感じで外は見える。

リポーターの綺麗なお姉さんが二人付き、カメラも数台。聞いたところによるとバリアフリー関係のドキュメンタリー番組のようだった。韓国班に日本班、それに取材スタッフ、鉄道職員など、車椅子だけでもそこその人数だしトータルするとかなりの人数。しかもこの視察した時間が夕方近くになり、ホームも電車も結構な人混み。ちょっと大変でした。

バリアフリー具合は、比較的新しいという

こともありそれなりに整っていた。近代的な感じ。実際に乗れたことはとても良かった。ただ、電車に乗り降りするためのスロープの用意は無く、ここはマンパワーとすること。この時、説明を受けた駅は比較的大きい駅だったんだけど、1日の車椅子利用者は3人くらいと言っていた。鉄道はバリアフリー化されてきてはいるけど、その最寄り駅までの移動手段がまだまだ乏しいため、利用者は少ないという事だった。少ないからマンパワーでいっか！という感じなのかな。ところで、あの時の取材がどんな番組になるのかか気になるな。



ある日の夜にある部屋に集まり、飲みながらしゃべった。こういう場の方がいろいろな話ができて楽しい。なかなかの刺激的な時間で、ちょっとドキドキもしたけど(*.*)

今回は移動のすべてをリフト付きのキャブで送迎していただいた。リフト付き車両の多くが日本財団からの寄贈車だった。ちょっとビックリ。見たことある車がいっぱ



ほぼ日本車。ここはパタヤの会場。南国チックな感じでとても良かった。

いあるんだもん。思ったよりもリフト車って普及してるのかと思い聞いてみたら、全くそんなことはなかった。タイではまだまだリフトキャブは少なく、国内のC I L などからドライバーも含めてかき集めたらしい。C I L もでき始めていてキャブもあるにはあるが、普及しているわけではなかった。逆に考えると、タイ全土から集めたキャブのほぼすべてが日本車だったという事は、それ以外の車種はあまり無いということなのかな。

お陰様で移動はとても楽しんだ。色々なところへ行ったけれど、ほぼドアツードア。ドライバーの方ともちょっと話したりして楽しかった。これだけ手配するのは

たいへん おも せ わ
大変だったと思う。お世話になりました。

さいご かえ くるこう も
最後に帰りの空港でひと揉めあった。
それはシップサイドでの車椅子乗り換えについて。空港側は、軽い車椅子はシップサイドでの乗り換えを認めるが、重い車椅子は認めないという事だった。ここは納得できないぞ！という感じで交渉突入。3時間くらいは力

うんたーで交渉していたんじゃないかと思う。早めに行って空港でゆっくりしようと思



こうくがいしゃ たいおう
航空会社によって対応もまちまち。このあたりがもう少し

かいぜん ひこう き べんり おも
改善されると、飛行機ももっと便利になるんじゃないかなあと思う。

タイでは自立生活運動が活発になってから 10 年ほどだという。日本では '70 年代あたりからなので、単純に比較はできないけど、まだまだ始まったばかりでこれからだ



なと思いました。もちろん、日本でも今の制度や環境が初めからあったわけではなく、当事者

の声や気持ちを訴え続けてきたからこそ、今の日本があるんだという部分が、タイの当事者リーダーに伝わっていたらいいなあと思います。



さいきん にんき
最近できた人気スポットだという「アジアティーク・ザ・リバーフロント」も行った。いわゆる良くあるショッピングモール。何とテレ東の撮影をしていた。昨年 12 月放送の大食い番組の決勝戦。ちょっとだけ映っちゃった(*^_^*)



おも ぜんぜんよゆう な
思っていたのが、全然余裕が無くなってしまった。そろそろ入らないと時間が・・・という事で、とりあえず双方の折り合いを付け何とかチェックイン。結局シップサイドでの移乗がどうなったのか私は近くにいなかったのではっきりわからなかったが、アレが嘘だったかのようにすんなり行けちゃった様な感じだった。

にゆうこく とく もんだい
入国する時は特に問題なかったのに、なぜ出国する時はこうなっちゃうんだろうか？大きな空港でもこのような事は割と良くある事だし、



航空会社によって対応もまちまち。このあたりがもう少し

タイでは自立生活運動が活発になってから 10 年ほどだという。日本では '70 年代あたりからなので、単純に比較はできないけど、まだまだ始まったばかりでこれからだ

なと思いました。もちろん、日本でも今の制度や環境が初めからあったわけではなく、当事者

の声や気持ちを訴え続けてきたからこそ、今の日本があるんだという部分が、タイの当事者リーダーに伝わっていたらいいなあと思います。



さいご くるこう とうじょう
最後の空港でのエキサイト交渉！

出生前診断

しゅっせいまいしんだん

を考える

かんが

ワークショップ

じりつせいかつ
自立生活センター
STEPえどがわ主催
すてっぷ しゅざい

まるた きみえ
丸田 君枝

がつ なのか にち とうぶ
9月7日（日）東部フレンドホールにて、
「出生前診断」を考えるワークショップを開催し
ました。神経筋疾患ネットワークから講師として、
みかたのぶこ やまもとなおこ さんをお招きし、約23
名の方々に集まり頂き、3時間のワークショップ
となりました。



しゅっせいまいしんだん ひとこと い なるい なに
出生前診断と一言で言っても、どんな種類があるのか、何
を問題としているのか、誰が考えるべき事なのか…そもそも、
しゅっせいまいしんだん なん なん おこな あ
出生前診断は何なのか、何のために行うのか…などなど、当
たり前のように行われている出生前診断、また、知らないな
ら知らないで過ごしてしまう出生前診断にあえて注目し、そ
れぞれが色々な気持ちに触れることが出来たと思います。

ロールプレイやグループワークなどで、色々な立場の感情を味わい、
その気持ちをみんなで聞きあい共有する事が出来たことは、とても
貴重な体験でした。

いのち せんべつ つな しゅっせいまいしんだん きづ
命の選別に繋がりがねない出生前診断、そのことに気付く、
しゅっせいまいしんだん ひつよう おも いま しゃかい しょうがい かんきょう
出生前診断はやっぱり必要でないとと思うか、それでも今の社会では障害があると環境
や設備や整わないため、診断をして中絶する事もやむを得ないと思うのか、でも、紛
れもなく「人」一人の命であることを絶対に忘れてはいけないと思います。

じゅうとく い しょうがい いろ くふう い しゃかい しょうがい
重篤と言われる障害があっても色々なサポートや工夫をし生きていける社会、障害



があっても無くても、その人らしく生きていける
しゃかいづく じつげん こと しんけいしんしつかん
社会創りを實現していける事を、神経筋疾患の
とうじしゃ こうし おお つた
当事者である講師だからこそより多く伝えてもら
えたし、より深く一緒に考える事が出来ました。

ピア・カウセリング 集中講座 2014

せきぐち さとし
関口 悟

いま、これを読んでる皆さんの中には
ピア・カウセリングをご存じの方もそ
うでない方もいらっしゃると思います。
そして「ピア・カウセリングって何？」
という方も少なくないと思います。

ピア・カウセリングとは同じ立場に
ある者…この場合は障がい者同士が互
いに時間を平等に分け合って相手の話を
「聴く」ことで、話す側も「聴く」側も

自分の心を解放し、それぞれが抱えている問題に向き合うエネルギーを得るための
手段です。

2014年11月25日から二泊三日の日程で、STEPえ
どがわとしては実に4年ぶり(!!)のピア・カウセリング
集中講座が戸山サンライズ(東京都新宿区)で行われました。

今回は町田ヒューマンネットワークの堀内万起子さんと、STEPえどがわから
丸田君枝が共同リーダーという形をとり、私を含めた7名が講座に参加しました。
そして、私は受講生として参加するだけでなく、STEPえどがわのスタッフと
して代表・良元竜次と共に講座の開催前に講義・宿泊会場の確保や他のCILへの



講師派遣依頼、参加者の募集や取りまとめ等、
様々なことを準備するオーガナイザーという
重要な役割をさせていただきました。

昨年4月からSTEPえどがわにお世話に
なっ初めてのオーガナイザーという役割に、
正直不安だらけでした。例えばオーガナイザー
が会場の確保をミスってしまったら集中講座そ



のものが^{かいさい}開催できなくなるかもしれない。
 実際、^{じっさい}前回まで使っていた^{かいじょう}会場が使
 えなくなるというハプニングがあっ
 たものの、^{じぶん}自分なりに^ぶ無事に^{こんかい}今回の
^{しゅうちゅうこうざ}集中講座ができるよう^{がんば}頑張りました。
 この場をお借りして私の^{わたし}至らないところ
 をカバーしてくださった^{よしもとだいひょうおよ}良元代表及び

^{す て っ ぶ}STEPえどがわの仲間たちに改めて感謝の意を表します。

さて、二日目の交流会はゲームができる広さの場所が確保で
 きなかったのと、^{わたしじしん}私自身がパーティーゲームに詳しくなかった
 ので、^{とやま}戸山サンライズ内のレストランによる^{けいしよく}軽食を^た食べながら
 自己紹介を兼ねたご当地^{とうちじまん}自慢をするという形だけでしたが、^{さんかしゃ}参加者や
^{かいじょしゃ}介助者、^{こんかい}今回の^{こうざ}講座のスタッフが様々な^{さまざま}地方の^{しゅっしん}出身でとても盛り上がりました。

^{たが}互いに^{じかん}時間を^{びやうどう}平等に^{きやうゆう}共有して^{あいて}相手に話を「聴いて」もらうことで自分自身
 を解放して、それぞれが自分の問題に向き合う新たなエネルギーを得る。
 その意味でもピア・カウンセリングはとてもよい機会だと思えます。

^{ひがしにほんだいしんさい}東日本大震災で4年の空白がありましたが、これから改めてピア・カウンセリング
 を体験する機会を続けていきたいと思っ
 ています。この文章を読んでいる皆さんも^{きかい}機会が
 あればピア・カウンセリングを体験してみ
 てはいかがでしょうか。今まで^{いま}気付かなかった
 新たな^{あら}自分を見つけるきっかけになるかもし
 れません。



福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
 お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！

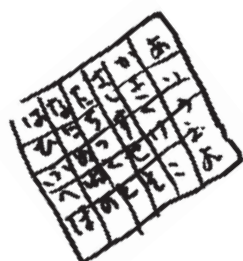
— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 **パムック**



江戸川区南篠崎町 2-16-2 第2相栄ビル3F
 (レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802



想像できた自分

～ピアカンから想像できた自分の生活～

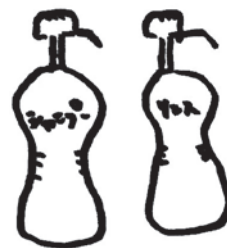
そうぞう じぶん せいかつ

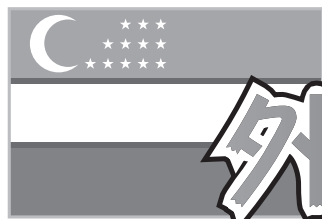


やじま さだみつ
矢島 貞光

『みんな楽しそうにしていた。ヘルパーに頼むやり方や食事を学んだ。いっぱいお話しすることができたことがよかった。江戸川での暮らしを考えた。STEPのみんなと仲間になれた気がした。』

朝、目が覚めたら着替えて洗面と歯磨きをして朝食（パン、ハム、コーヒー）を作ってもらう間、テレビを見ている。テレビを見ながら朝食を食べ、量が少なくても必ず毎日洗濯と簡単な掃除をしてもらう。昼食は自宅で作るもしくは昨夜の残りご飯で作ったおにぎりを外出先で食べる。日中は買物に行ったり、STEP事務所に顔を出したり、たまには遠くへ行ったりもする。夕方には大体アパートに帰ってお風呂に入る。その後、ご飯を炊き、ヘルパーさんに夕食を作ってもらう。できる限りヘルパーさんが作った食事をアパートで晩酌しながらゆっくり食べる。テレビなどを見ているうちに夜も遅くなりベッドに入る。そんな普通の日常が想像できた。





がいにく けんしゅうせい らいにち 外国の研修生、来日!

もりた なお
森田 直

平成 27 年が始まってすぐに、ダスキンの障がい者リーダー
育成事業からウズベキスタンの研修生がやってきました。1
月初旬の寒い時期にやってきた研修生は、車椅子に乗りパー
カー姿で颯爽とやってきました。

「寒くないの?」と問いかけると、少したどたどしい
日本語で「暖かいくらい」と答えていました。しゃべれるん
だとほっとしました。

よくよく聞いてみるとウズベキスタンという国は、1年
最低気温 -30 度、最高気温 45 度と寒暖差が激し
い国であることを知りました。真冬には外で犬
が凍っていることもあるとのこと…。世界は広
いデスネ…。

研修中はとても積極的でたくさんの方に
興味を持ち、調べ、多くのことを質問してきま
した。その質問にあたふたしながら答えていま
したが、改めて一緒に調べて考えてをやっていると忘れ
かけていたことや国の違い、日本文化などのことも考え
る良いきっかけになりました。

平日は、いつもお世話
になっている施設などを
見学させて頂き、一所懸命

コミュニケーションをとっていました。気になったこ
とはすぐに質問し、たくさんメモをとっていました。
ちなみにメモは英語かウズベク語でした。

大学では経営学を専攻しているそうでウズベキスタ

でいるしゅんど



ンでC I Lを立ち上げることも考えているらしく文字で埋まるくらいメモしていました。

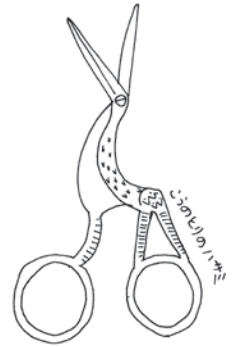
事務所が休みの日には土屋さんとお台場へ行き二人で観覧車に乗り恋人気分を味わい、レストランでビーフシチューを食べたりして観光も楽しんでいました。どうだったか聞くと「もっと色んなとこに自走で行きたい」と言っていました。自走で…。

彼は運動が好きで夢は車椅子マラソンでパラリンピックに出ること。普段から時間を測りながら自転車の立ち漕ぎより少し遅いくらいのスピードで走って事務所まで来ていました。

すべてにおいてストイックな彼のこれからの活躍を祈りながら10日間の研修を終えた彼とまた会う約束をして別れました。

ちなみに彼はこの後、楽しそうに沖縄に行きました。

※ダスキン・アジア太平洋障がい者リーダー育成事業とは
アジア太平洋地域の障がいある若者を日本に招へいし、約10ヶ月間、日本の障がい者福祉や日本文化を体験し、帰国後はそれぞれの国と地域のリーダーとして活躍していただくという人材育成事業です。



みんな活動もしています

つちや みねかず
土屋 峰和

こうつうじぎょうしゃむ きょういくくれん 交通事業者向けバリアフリー教育訓練

りやくしょうべすと けんしゅう ぱりあふりー えでゆけーしょん しすてむ ふおーとらんすぽーてえーしょん
(略称 BEST 研修: Barrier-free Education System for Transportation)



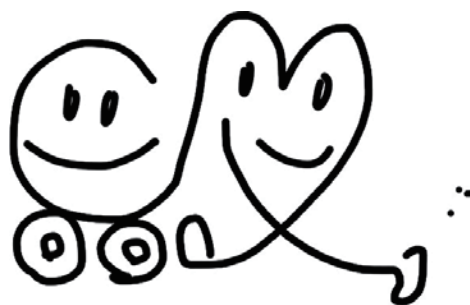
こうつう ぎいだん しゅさい べすと
交通エコロジー・モビリティ財団の主催する BEST
けんしゅう さんか けんしゅう
研修へ、アドバイザーとして参加しました。この研修
は、ますます増えると思われる高齢者や障害者等
が、安心して公共機関を利用できるようにする目的で
こうつうじぎょうしゃむ かいさい わたし
交通事業者向けに開催されているものです。私たち
こうつうきかん りょう がわ じぎょうしゃがわ たが りかい
交通機関を利用する側と事業者側とのお互いの理解を

ふか じぎょうしゃ せつぐう かいじょ ちしき ぎじゆつ つた ふつかかん についで じっし
深め、事業者に接遇や介助の知識や技術を伝えるため、二日間の日程で実施されてい
ます。

しょうがいしゃなど じっさい こうつうきかん りょう ととき じょうむいん えきかかりいん
障害者等が実際に交通機関を利用する時に、バス乗務員さんや駅係員さんにどの
ように対応して頂いたら良いかなどを、障害当事者が話し、時には実演し、一緒に考
えてみるといった研修内容です。この研修の企画から実施まで、各種障害当事者が
さんか けんしゅう とくしよく
参加していることがこの研修の特色でもあります。

べすと けんしゅう じぎょうしゃむ
この BEST 研修には、バス事業者向けと
てつどうじぎょうしゃむ ねん すうかいかいさい
鉄道事業者向けがあり、年に数回開催されています。
じょうむいん えきいん げんぱ じっさい おうたい
バス乗務員さんや駅員さんなどの現場で実際に対応さ
れている方や、運行や人事などの管理職の方、そして
かた うんこう じんじ かんりしよく かた
行政側としても国交省の方々が受講されていました。

さくねん すうかい けんしゅう こえ
昨年から数回にわたりこの研修に声をかけ
いただき、私自身とても良い経験になっていま
す。こちらの思いを伝えるだけではなく、利用
しているだけでは解り難い事業者側の思いや
じじょう き じぎょうしゃ
事情を聞くことができました。また、事業者さ
ん側としても実際に交通機関を利用されている



当事者が加わることで、疑問や対応なども直接聞くことができたため、良い参考になったのではないかと思います。

質問には「どう対応すればいいかわからない」という声が多く、なかには「良かれと思って対応したことが、逆にクレームに繋がってしまった」というようなケースもありました。

事業者側にしてみると、状況による部分も大きいため難しいケースもあるとは思いますが、私が思うに答えは一つではないという事だと思っています。いろいろな状況があるのと同時に、いろいろな人がいるのです。これは障害の有無に限らないと思います。

この研修を通じてお互いの理解がより深まり、お出かけがますます楽しくできるようになっていけたらいいなと思います。



障害者リーダーシップ育成とネットワーキング

この研修は国際協力機構(JICA)が行っているもので、開発途上国の障害当事者リーダー育成のために実施されています。今回はアジアを中心にラオスやタイ、インド洋に浮かぶ島国モルディブ、そしてアフリカ内陸のルワンダから計7



名の研修生がいらっしゃいました。日本の障害者運動や法制度、インフラ整備などを研修・経験するため、2ヶ月ほど滞在します。

この約2ヶ月間の研修はびっしりと組まれているのですが、その中で「公共交通体験」という実際に外出しての体験と、「日本の交通アクセスの現状」の講義を、私ともう一方の当事者二人でさせ



いただき
て頂きました。

これも数回目の参加となるのですが、英語
がダメな私としては未だにちょっとドキドキ
な感じでした。もちろん通訳の方もいるので
すが、ちょっとしたコミュニケーションにはガ
ンバって喋ってみたりして…(^_^)。今回は、

聴覚障害の方もいらしたので日英通訳の他に、ASL（アメリカ手話）通訳の方も
同行しました。

交通体験では、JICA東京の最寄り駅である「幡ヶ谷駅」「代々木上原駅」より
2班2ルートに分かれ、国会議事堂へ乗り換えも体験しながら行きました。エレベ
ーターやトイレ、券売機や点字案内板などの駅設備、また、行先を駅員に伝えることに
より得られるサポートのことなどを、実際にお話ししつつ移動しました。駅員の筆談
によるサポートやスロープによる対応は、みなさんの自国ではないようで驚かれてい
ました。

交通アクセスの講義では、これまでの法律の事ととも
に、身近に感じるバスや交通体験で体験した地下鉄に関し
てお話ししました。また、良いケースの例として街のお店
のこと。これは、新規出店されるお店に対してバリアフリー
化を要望し、良い形で実現したケースや、ヘルパーを使い
ながらの自立生活について等、普段の生活に近い部分につ
いてもお話ししました。

皆さん自国の状況に照らし合わせて聞いていたようで、日本との違いについての
質問が多く出ました。

いろいろと話をすることで自分自身の確認にもなり、時にはうまく答えられない
質問もあったりして(*_*) 僕自身の勉強になっているようにも思います。



どんだけ～



※意識の持続の難しさ

金魚大事件



※想像力が足りないお話

やまん

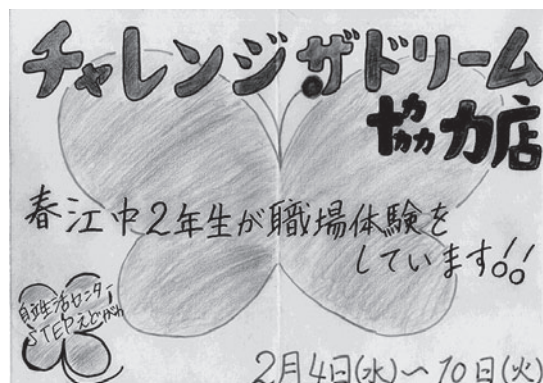
Challenge ^{ちゃれんじ} 中学生の職場体験 ^{ちゅうがくせい} ^{しよくばたいけん} the ^ざ Dream ^{どリーむ}



こまつ りょう
小松 棕さん

かいじょ しごと ろうじん せ わ
介助の仕事では、老人のお世話をしたことは
あっても障害者はほとんどなくチャレンジ・ザ・
ドリームでの体験はとても勉強になりました。

おどろ くるまいす でんき うご おどろ
驚いたことは、車椅子が電気で動くのが驚きま
した。車椅子の部品の名前も勉強になりました。
かいじょ しごと ひと こうりゅう ひつよう おも
介助の仕事は、人との交流が必要だと思いました。



みやまえ ゆうき
宮前 優樹さん

かいじょ しごと たいけん はじ ふあん しよくいん
介助の仕事は、チャレンジ・ザ・ドリームでの体験が初めてで不安でしたが、職員
ひとびと やさ おし いろいろ べんきよう
の人々が優しく教えてくれたおかげで色々な勉強ができました。

ほか くるまいす の だんさ かいだん のぼ くだ しかた くるまいす ぶひん なまえ おし
他にも車椅子に乗り段差や階段の上り下りの仕方や車椅子の部品の名前など教えて
くれたり、実際に現場に連れて来てくれて介助をしている所を見せてくれたり、たくさん
じっさい げんば つ かいじょ ところ み
の体験ができ、楽しかったです。

チャレンジ・ザ・ドリームとは？
ちゅうがくせい しよくばたいけん い
中学生の職場体験のことをそう言う。こ
の職場体験は江戸川区の中学校で実施さ
れているもので、2年生が対象になってい
ます。実際に区内の事業所に行って職場・
職業体験をするというものです。農業、
はんばい きよういく ほういく ふくし
販売、サービス、教育・保育、福祉など
くない さまざま ぎようしゅ しよくしゅ じぎようしゅ う い
区内の様々な業種・職種の事業所が受け入
れ事業所として登録していて、その中に
す て っ ぶ とうろく
STEP えどがわも登録しています。
せいと きぼう しよくしゅ たいけん
生徒たちは、希望の職種などで体験する
じぎようしゅ い
事業所へ行くそうです。

みね はるか
峯 春香さん

チャレンジ・ザ・ドリームで介助
たいけん てっだ
の体験で、ヘルパーさんのお手伝い
をさせて頂いたのですが、とても
たいへん おどろ くるまいす
大変で驚きました。車椅子をおすの
ですら怖かったです。階段を上ると
き、落とさないように支える。それ
がとても怖いのです。

でも、怖いからやめるのではなく、
こわ さいしん ちゅうい
怖いからこそ細心の注意をはらうこ
とが、大切なんだと、思いました。



そのおかげで、とても楽しい^{たの}職場体験^{しよくばたいけん}になりました。ありがとうございました。

しんざわ あおい
新澤 葵さん

チャレンジ・ザ・ドリームで私が一番楽し^{わたし いちばんたの}かった^{くるまいすたいけん}は車椅子体験です。

私は車椅子に乗ったり、押し^{わたし くるまいす の お}たりする^おことがあるのでなれてきたな^{おも}って^{ちようし}調子^おに^{たいへん}の^おって押し^おたりする^{たいへん}と大変です。なのでこれからはしっかりと慎重^{しんちよう}に車椅子を押し^{くるまいす}たり、^お乗^のったりしたいと思^{おも}いました。押し^おたりする

ときは祖母^{そ ば}のお出^でかけやお散^{さん ぽ}歩^おをする^おときに押し^おたりする^おのは日常茶飯^{にちじようさはんじ}事^おなのでし^おっかり、心^{こころ}を込^こめてがんばりたいと思^{おも}いました。

次^{つぎ}からもしっかりと慎重^{しんちよう}にしていきたいと思^{おも}いました。いままでありがとうございました。

なかざわ ゆ み
中澤 優実さん

今回^{こんかい}職場体験^{しよくばたいけん}を^{いま}して^{くるまいす}みて、今^{いま}までは車椅子^{くるまいす}の^{ひと}人^{ひと}の^{かんが}こと^{せいかつ}を考^{かんが}えて生^{せい}活^{かつ}した^{せい}ことがあ^あま^まりな^なか^かった^たけ^けど、車椅子^{くるまいす}体験^{たいけん}やSTEP^{す て っ ぶ}えどがわの^{はなし}みなさん^{とお}との^きお話^わを^き通^として、^き気^きづ^づか^かさ^される^る事^{こと}が^{こと}た^たく^くさ^さん^んあ^あり^りま^まし^した。

今^{いま}の^{わたし}私^がた^がち^{こう}の^が学^が校^{こう}はスロ^ろー^ろプ^ろな^など^どが^がな^なく^くて^て車^{くるまいす}椅^ひ子^{はい}の^{みずええき}人^みが^み入^みれ^えな^なか^かつ^つた^たり、瑞^み江^え駅^{えき}の^お店^{みせ}だ^だけ^けで^せも^ま狭^{せま}く^くて^て車^{くるまいす}椅^ひ子^{はい}の^か人^{ひと}が^か買^かい^いた^たい^い物^{もの}が^か買^かえ^えな^なか^かつ^つた^たり^りす^する^る場^ば所^{しょ}が^があ^ある^るの^ので、^おど^どんな^ん人^{ひと}で^でも^も自^じ由^{ゆう}に^{せい}生^{せい}活^{かつ}で^でき^きる^るよ^よう^うな^な町^{まち}に^にし^した^たい^いな^なと思^{おも}い^いま^ます。

こまつ ひよりさん
小松 ひよりさん

私^{わたし}は^{しよくばたいけん}職^{しよく}場^ば体^{たい}験^{けん}を^{くるまいすたいけん}して^{くるまいすたいけん}みて、車^{くるまいす}椅^ひ子^{はい}体^{たい}験^{けん}が^い一^い番^{ばん}心^{しん}に^{のこ}残^{のこ}り^りま^まし^した。

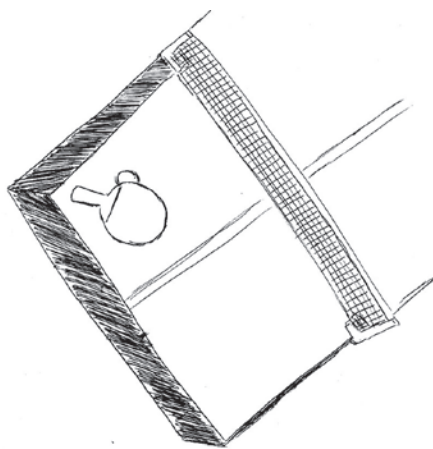
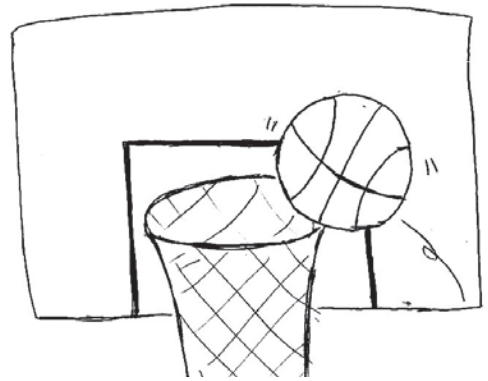
普^ふ段^だな^なに^にげ^げか^かよ^よっ^{みち}て^{せま}い^いる^る道^{みち}が^{せま}こ^こんな^んに^にも^も狭^{せま}く^くそ^そして^{して}こ^こんな^んに^に揺^ゆれる^るこ^こと^とに^にび^びっ^くり^りし



たし、エレベーターが無い時に、階段を使うことが
大変なことに気付きました。

自分が実際に車椅子に乗り、階段の場合の運び方を
体験させてもらった時、持ち上げる方は落とさない
か心配だったけど、持ち上げられるとまた怖く、
持ち上げてる時とは違う緊張感がありました。

今回の体験をきっかけに私は、私にできることは
しっかりやろうと思いました。五日間、ありがとうございました。



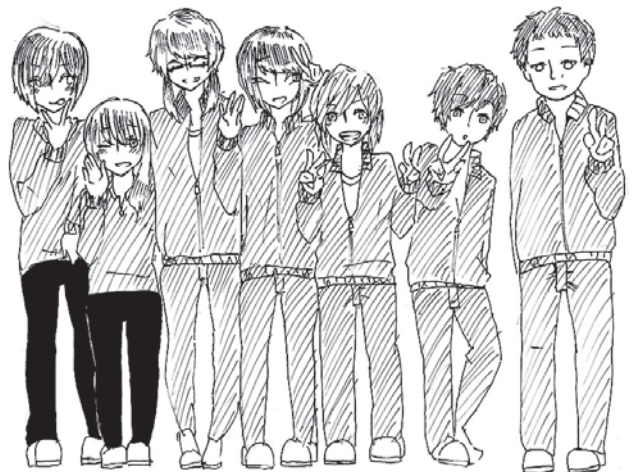
の だ あかり 野田 明里さん

今回の職場体験を通して知ったことは、介護と介助の
違いです。

私も、実際に家にお邪魔してその人とお話ししたり、
ヘルパーさんのお手伝いをしたりしました。体験だけだ
とそんなに大変ではなく楽しいと思いました。本当に
仕事をするとなると責任があるので大変なんだと思いま
した。

お昼休みでは瑞三の人たちと職場の人たち
とお話ししながら食べるのがとても楽し
かったです。

当事者の方からのお話では、バリアフリー
のお話しや日常生活での不便さなどを聞
きました。職場体験が終わってからも、聞か
せてもらったことを意識して何かに役立
てられればいいなと思いました。



介助者・利用者川柳

違和感が、無くなりつつある、ゴム手袋

見慣れば、案外可愛い、人工肛門

ヘルシアと、移動介助で、2キロ痩せ

侍の、名前みたいだ、ゲンタシン

麻雀の、上がりみたいだ、リンデロン

トイレの日、夜はカレーと、決めている

相手みて、観るか観れぬか、ホラーもの

このいびき、

ワンコか？ニャンこか？、

いやヘルパー



東日本大震災障害者救援募金活動報告

丸田 君枝

東日本大震災から4年を迎える前日の2015年3月10日（火）昼と夕方の二部に分けて地元最寄駅の瑞江駅にて募金活動を行いました。4年前の地震による津波や原発事故を受け、今後もいつしか起こりえる様々な震災をどう生き抜くのか、その為に地域のネットワークを強めていくことを今現在も被災地で力強く生きる仲間たちに学んでいきたいと思ひます。

また、「東北関東大震災障害者救援本部」は、このまま維持するのではなく、呼びかけ団体のゆめ風基金とDPI日本会議そして全国自立生活センター協議会（JIL）の3団体が日常の中で財政面と制度面を支援することで、解散をする結論に至りました。

今後、被災地の障害者救援金は、ゆめ風基金が引き継ぎます。

ゆめ風基金は阪神淡路大震災をきっかけに、緊急時に備えておこうと発足しました。これまで、様々な自然災害が起こり、「ゆめ風基金」からは海外も含めて被災地の障害者・児に届けています。

今回の救援活動も当初はこの基金を元にしております。お気持ちをこちらに寄せていただけるよう、お願いいたします。

ゆめかぜ【ゆめ風基金】振込方法

郵便振替口座 00980 - 7 - 40043 ゆめ風基金
ゆうちょ銀行 店番 099 当座 0040043 ユメカゼキキン

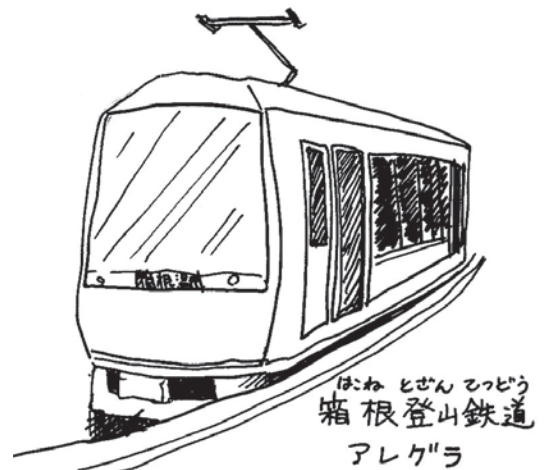


勝矢光信の情報発信コーナー

かつや みつのぶ
勝矢 光信

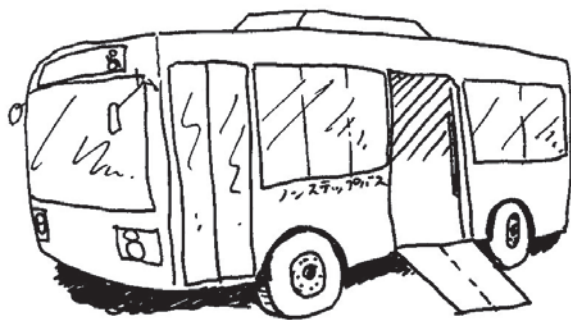
てつどうじょうほう 鉄道情報：

11月1日、箱根登山鉄道に新型車「アレグラ（こ
んにちは）号」（フォアグラ？）登場。真っ赤で、
かわいい。絶対に乗ってください。芦ノ湖に抜
けてもいいし、Uターンして帰ってきてもいい。
真っ黒な温泉卵も絶対に食べてください。



の つ たび バス乗り継ぎの旅：

各地に、車イスで乗れるバスが運行される時代になった。乗り継ぎバスのTV番組を
見ていると、70%のバスがバリアーフリーになっている。江戸川区からどこまで行



けるだろうか？若かったら、絶対に実行して
いる。若い車イス諸君、挑戦してください。
奥多摩、日光、箱根、名古屋、京都、新潟、
宗谷岬、どこまで行けるか？旗を立てて、さっ
そうと行くと良い。地方のバスは、スロープ
がさびついているかもしれない。地域の人の
暖かな心にも触れるであろう。恋がうまれる

かもしれない。どんなハプニングがあるか？想像するだけで、ワクワクする。「車イ
スで乗れるバス」の乗り継ぎ番組、企画書をどこかのTV
局に売り込んでみませんか？ヒットしたら、あなたはス
ター！命は保証しません。クマに食われるかも？クマっ
ちゃう。



はたけ
畑：



わたし しゅみ はたけ すうじつまえ ま むぎ ばたけ あつ
私の趣味は、畑。数日前に蒔いた「麦」畑に、スズメが集まっ
てきて、種を食べている。実にうまく種を見つける。細い
あし じつ たね たね み ほそ
足でキックして、クチバシで土を避けて、もう少しで芽が
でる たね つち ほり だして た お はら
種を土から掘り出して、食べてしまう。追い払いたい
が、動けない我が身、くやしい。10日もすれば芽が出てく
る。果たして、どれだけが芽になるか？はらはらする。ス

ズメだって腹はすく。びくびくして、あちこち見ながら、美味しそうに食べているの
だから、あまり責められない。動けない私を見て、「ざまあみろ、追い払えないくせに、
3食も食べている。」というから、憎い。ミミズをおかずに、麦ご飯。さぞかしおい
しいだろう？追い払うのに、ネコが一番。最近では、エサを与えないので、のら猫が来
ない。腕の動く「招き猫」を畑に置いたら、一時、来なくなった。しかし、ほとぼり
が冷めたら、群団でやってきて、招き猫をつついて、倒して、目をくり抜いて、腕を
もいでしまった。泥にまみれ、ぼろぼろの猫。もげた腕のモーターだけがジージーと
なっていた。

ふくし
福祉チキン：

ふくし じゅうじつ じゅうど いっぱんしゃかい い
福祉は充実し、重度でも一般社会で生きられるようになった。しかし、どうしても
自分が料理されるブロイラーの気がしてならない。制度が整うと、縛られていき、あ
ちこちの福祉関係者、医者が「羽をむしる」人にみえてくる。被害妄想かもしれない
が、気がついてみると、役所と医者をトップとする大組織ができあがっていて、自分
を料理して、笑って食べている。おいしいですか？羽をむしる係、皮をむく係、部分
ごとに仕分けする係、煮る焼く係、味付け係。何個の印鑑を押しただろう。今日も、
行きたくない医者に鑑定されに行き、支援されたくない介護支援ステーションに支払
いに行く。自分がチキンにされるのに、料理長
に「おいしく料理してね」と頭を下げに行く。
なにか、不思議な、不審な自分の人生。自分で
あって、自分でない。料理されるために月末は
いそがしい。こんなに忙しいのは、67年間の人生
で初めて。65歳過ぎてから、急に忙しくなった。
おいしいチキンにされるために。チキンとした
ねんきんせいかつ
年金生活しよう。



しん す た っ ふ しょう かい 新スタッフ紹介

せいしやいん たなか あさみ
正社員 田中 麻実

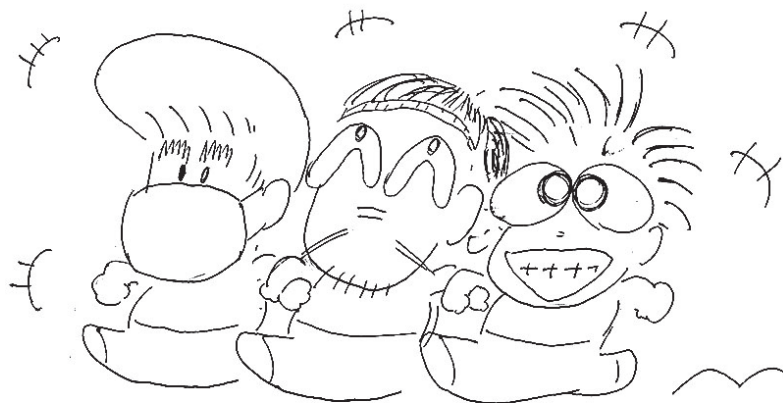
す て っ ぶ なま え も たなか あさみ かんたん
STEPでは、2つの名前を持つ田中麻実です。簡単に
じこしょうかい
自己紹介させていただきます。

さかのぼること 10 年前・学生時代にバイトとして働き、
しゅうしょく き はな けっこん しゅっさん へ はたら
就職を機に離れ、結婚、出産を経てパートとして再び戻り、
だい ししゅっさんご しゃいん はたら
第2子出産後、社員として働かせていただいています。

こんな出戻り娘？（30 歳で娘は N G ですが…）を温かく
かんげい うれ かげ げんば で
歓迎してくださり嬉しい限りです。現場にもちょこちょこ出て
います、が、じむしょ おお
事務所にいることも多いです。なにかありましたら
なんなりと～

とうきょうう とうきょうそだ きょじん しょうらい むすこ
東京生まれの東京育ち、巨人ファンで将来、息子どちらか
やきゅうせんしゅ かって きぼう だ
野球選手になってくれないかな～と勝手に希望を抱いています
が…（親って勝手言い放題ですよ～）

こんな田中ですが、子どもがまだ小さく、多々で迷惑お掛け
しますが、こんご ねが いた
今後もどうぞよろしくお願い致します。ちなみに
すどう よ へんじ
須藤と呼ばれても返事をします！



れたち受妻おじさんズ ♪



せいしやいん ふくおか かずと
 正社員 福岡 一人

平成 25 年 8 月 1 日付新たに S T E P えどがわの社員に採用
 させて頂きました福岡一人と申します。今年で 45 歳のおじさ
 んですが、若い時からの夢を実現したい思いがやっと叶い今
 は四苦八苦しながら先輩社員、介助者様から叱咤されつつ早
 く一人前と認めて頂きたく思っています。

最近、この仕事に就くことがなければ知り得なかった事が
 多々あることに気付き自分自身改めて「人」と関わる仕事の

難しさの反面、やりがいを感じています。

今後の自分は何ができるか？何をすべきか？どのような行動をするべきか？また
 その行動は皆の願い・喜び・安心と繋がっていくのか・・・を考えた行動を基本に様々
 な運動に今後参加していきたく思っています。

今後も、皆様方々の一員であることを認識しながら S T E P えどがわでお世話にな
 ると思しますのでよろしくお願い致します。

せいしやいん ひるかわ りょうこ
 正社員 蛭川 涼子

初めまして！10 月から当事者スタッフとして働くことにな
 りました蛭川涼子です。出身は東京都下の小平市。その後、
 学生時代から清瀬市、東村山市、中野区、千葉県船橋市とふら
 ふらし続け、2 年前に江戸川区へやってきました！

障害者運動との出会いは 20 年ほど前になりますが、この 10
 年遠ざかっていました。障害を持つ人たちの生活は良くなった
 のか、格差が広がっただけなのか、悪くなっているのか・・・。
 ただいま、再勉強しながら、少～しずつ感覚を取り戻しています。

S T E P に来る前は、西葛西で 6 年間働いていたので、江戸川区は他の区より親し
 みを感じています（＾＾）所々に畑が残っていたり、高い建物が少なかったり、空
 が広がったりする瑞江や篠崎ののどかな雰囲気も好きです。

もっとも～っと、江戸川区のことを知りたいと思っています。どんな街で、どんな
 人たちが住んでいるのか、江戸川区の障害をもつ子どもや大人たちはどんな生活をし
 ているのか、学校は？住まいは？就職は？S T E P の利用者さんや介助者の方々と
 もたくさんおしゃべりしたいです。色々とおしえてくださいね。新参加者ですが、どうぞ
 末永くよろしくお願い致します。



活動報告

2014 年

5/14 自治労
5/15 J D F 東京
5/18 いきなり調理実習
東部フレンドホール
5/22 尊厳死院内集会
5/22 . 江戸川さんしょうがいフォーラム
5/27 J I L 総会 大阪
6/21 計画相談説明会
6/14 ~ 15 D P I 総会 静岡
6/21 計画相談説明会
6/24 ケアマネ協会研修会
6/26 緊急集会
STOP! 精神科病棟転換型居住系施設!
6/27 STEP えどがわ 総会
6/28 ~ 29 . 重度訪問介護従事者養成研修
6/30 いきなりの会
7/11 STEP 子バザー
7/13 . . . ボランティアフェスティバル
7/25 T I L 総会
7/30 ~ 31 生活介護・関西視察
8/5 オリパラ 武道館視察

8/6 オリパラ ビックサイト視察
8/6 ~ 8 . . . 重度訪問介護従事者養成研修
8/9 STEP 子夏祭り
8/20 仕事発見カレッジ
8/27 合同就職説明会
8/27 D P I 政策委員会対策会議
8/29 I L P リーダーズ
8/30 . 江戸川さんしょうがいフォーラム
8/30 ~ 31 D P I 常任委員会
9/1 内閣府政策委員会傍聴
9/1 ~ 7 タイ I L ツアー
9/4 オリパラ提言会議
9/6 福祉のしごと相談・面接会
9/7 出生前診断ワークショップ
9/11 個別相談
9/14 東部区民館バザー
9/14 ~ 9/30 スイス (国連権利委員会傍聴)
~ アメリカ (日米交流打ち合わせ)
9/15 . J I C A : パキスタン行政官視察
10/1 楠さん追悼集会
(D P I 副議長、障大連代表) 大阪
10/2 . . . 日弁連イベント
(障害者権利条約) 函館

10/7 ~ 8 J I C A 公共交通体験
 10/10 S T E っ 子バザー
 10/15 個別相談
 10/18 B B Q
 10/23・24 新入社員研修
 10/28 ~ 29 エコモ財団
 交通事業者向け研修：鉄道編
 10/30 10・30大フォーラム
 11/2 淑徳大学祭 うどん店出店
 11/1 ~ 11/3 ピープルファースト
 全国大会：沖縄
 11/15 D P I 東京シンポジウム
 11/15,16 重度訪問介護従事者養成研修
 11/16 新入社員歓迎会
 11/20 オリパラ提言会議
 11/20 江戸川区障害者自立支援協議会
 11/21 ろべの会（八丈島）来所
 11/25 T I L 学習会
 11/25 エコモ財団
 交通事業者向け研修：バス編
 11/25 ~ 27 集中ピアカン講座
 戸山サンライズ
 11/27 関東ブロック研修
 12/3 内閣府主催イベント
 内閣府新庁舎
 12/3、12/5 淑徳大学 講義
 12/4 J D F 全国セミナー
 （条約批准元年イベント）有楽町マリオン
 12/8 ~ 9 神筋ネット運営会議 神戸

12/13 ~ 14政策討論集会 戸山サンライズ
 12/15 ~ 16 J I L 全国セミナー 品川
 12/19 X m a s パーティー
 12/23 日身連イベント 科学技術館
 12/26 仕事納め

2015 年

1/6 大行動勉強会
 1/7 オリパラ提言会議
 1/9 S T E っ 子バザー
 1/10 ピアカンセミナー
 1/13 ~ 21 ダスキン研修生
 1/14 明治学院大学 ゼミ生徒 研修
 1/26 J D F 地域フォーラム in 東京
 1/29 精神科病棟転換型居住系施設を
 考える東京集会
 1/31 A L S 患者等の
 医療的ケアシンポジウム
 1/31 ~ 2/3 防災研修 in 青森
 2/4 静岡県初任者研修
 2/4 ~ 10 チャレンジザドリーム
 2/10 新年会
 2/13 S T E っ 子バザー
 2/19 オリパラ会議
 2/20 個別相談
 2/24 ヘルパー研修会
 2/26 個別相談
 3/10 募金活動
 3/14「出生前診断を考える」ワークショップ
 in 静岡、チャレンジド・ふじ

かい ぶん ぼ いた 会 員 募 集

す て っ ぶ じりつせいかつ かいほう ぼりゆーむ ねん がつ かんこう
STEPエどがわは、STEPポリシーとSTEP訓の下、障害者
の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした
社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、当法人の活動趣旨にご賛同いただける皆様に会員（正・
賛助）になっていただき、共に自立生活センターSTEPエどがわを支え、
育てて下さる仲間を募集します。

せい かい いん せい かい いん とうほうじん てい かん さだ そうかい さん か
正会員（正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます）

- とうろくりよう えん にゅうかいじ
・登録料 5,000 円（入会時のみ）
- かい ひ えん ねん
・会費 5,000 円／年

かい いん さん じょ かい いん
サポーター会員（賛助会員）

- こ じん くち えん ねん くち いじょう
・個人 1 口 3,000 円／年（1 口以上）
- だんたい ほうじん くち えん ねん くち いじょう
・団体・法人 1 口 10,000 円／年（1 口以上）

かい いん とうほうじん かんこうぶつ あんない とう そうふいた
会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

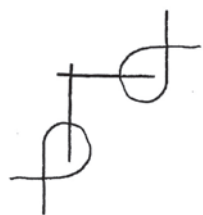
かい ひ の う に ゆう さ き
会費納入先

ゆう びん ふり か え じりつせいかつ
＜郵便振替＞ 自立生活センターステップエどがわ No.00110-0-579238

ぎん こう ざ とく てい ひ えい り か つ とう ほう じん じりつせいかつ
＜銀行口座＞ 特定非営利活動法人自立生活センターステップエどがわ

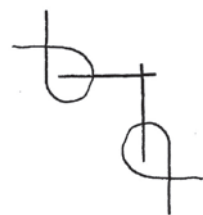
みつ び し とう き ょ う ゆ え ふ じ えー ぎん こう み ず え し て ん ふ つ う
三菱東京UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550





編集後記

へん しゅう こう き



ひょうし 表紙のアイテムはどちらもいただき 物のようですが、このようなア
アイテムをあつか ざっかや さんもおも 好きで街で見かけると思わず
はい 入ってしまいます。ある日、とある ざっかや さんでコレを
み 見つけました。ひとめぼ 一見惚れです。とてもナイスな感じ かん じです。
これはスタンプホルダー。ハンコを かつ かつ 肩に担いでいます。
かつ 担いでいる人 ひと といい、ナイスなアイディアにデザインに
かんどう 感動です。

へんしゅう
編集 :

とうきょうとし て いきよく し えんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
とくてい ひえいり かつどうほうじん えぬぴーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
自立生活センターSTEP えどがわ
じりつせいかつ すてっぷ

〒133-0065 とうきょうと えどがわ く みなみしのぎまち
東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

でんわ TEL 03-3676-7422 ふあつくす FAX 03-3676-7425

う え ぶ WEB <http://www.step-edogawa.com/>

めーる E-mail main@step-edogawa.com

